

令和 2 年度 第 5 回 新潟支部評議会 議事概要

開催日時	令和 3 年 3 月 23 日（火） 15 : 00～
会場	全国健康保険協会新潟支部 会議室
出席評議員	青柳評議員、秋葉評議員、大橋評議員、高野評議員、高橋評議員、竹津評議員、筒井評議員〔五十音順〕
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 3 年度保険料率について 2. 令和 3 年度以降の健康宣言事業について (報告) <ol style="list-style-type: none"> 1. 重点広報事業について 2. その他
議 事 概 要	<p>事務局より各議題について説明を行った後、各評議員よりご意見をいただいた。</p> <p>議題 1. 令和 3 年度保険料率について</p> <p>【事務局】 「令和 3 年度の保険料率」について「準備金残高の将来見通し」や「介護保険制度」及び「都道府県別医療費」や、最近の協会けんぽの医療費・適用状況について説明する。</p> <p>【事業主代表】 新型コロナウイルス感染症の影響による標準報酬月額マイナス傾向は不安要素である。また、保険料率についての各支部の意見で、保険料率の支部間格差について多く言及されているが、支部間格差が生じる理由や、具体的にどう格差を解消していくのか何か策があれば伺いたい。</p> <p>【事務局】 過去には、激変緩和措置がとられていたが、昨年度で終了したため、年齢調整、所得調整後の 1 人あたり医療費の水準がそのまま保険料率に反映されている。また、インセンティブ制度の成績も影響している。</p> <p style="padding-left: 2em;">支部ごとの医療費要因分析や医療費適正化対策を進めていかなければならないと考えている。</p> <p>【事業主代表】 都道府県別の医療費やメタボリックリスク保有率のデータを見て、各都道府県によって結果に差があることが分かったが、協会ではその原因まで把握しているのか。</p>

【事務局】 メタボリックリスクに関連する血圧リスク保有率を見ると、東北地方では男女共に高いデータ結果となっている。一つの見方であるが、各地域における塩分摂取量などの食生活が関連していると考えられる。

【事業主代表】 食生活が原因であれば、原因に対する適切な指導教育により改善され、結果的に保険料率の引き下げにも繋がるように思う。

【被保険者代表】 新型コロナウイルス感染症の影響で今後の状況が不透明なため、準備金の確保は必須であり、平均保険料率を引き下げできない状況は理解できる。
しかし、支部間格差が広がっている状況であるため、各支部の状況や問題点を把握して、原因と結びついた対策が必要だと考える。

【学識経験者】 新潟支部の令和3年度保険料率は引き下げとなった。しかし、問題は新型コロナウイルス感染症の影響が最も出た令和2年度の結果が反映される今後だと思う。影響が出るのは次年度以降になるが、今後どのように対応していくのか。

【事務局】 1人当たり医療費に影響を与える高齢化と医療の高度化が進む中、協会としては平均保険料率10%を負担の限界であるとして、中長期的に見てできる限りこの負担の限界水準を超えないようにすることを基本に考えている。

また、国や関係機関に対して、事業主や加入者の皆様の意見を発信することや、保
険者として医療費適正化に努め、広報活動も着実に実施していく方針である。

議題 2. 令和3年度以降の健康宣言事業について

【事務局】 アクションプラン(第5期)を伝え、「健康経営宣言」における協会けんぽ全体のKPIについて説明。新潟支部の健康経営宣言の現状やこれまでの取り組み、今後の取り組みについて説明する。

【被保険者代表】 周りの事業所から健康経営宣言についての話題はあまり聞かない。自社で宣言しているが、送付される書類が多く混乱してしまうこともある。

健康経営宣言をすることで得られるメリットが分かりづらいため、例えば、健康経営宣言にエントリーしている旨のマークを名刺等に使用できたりすると、会社も外部に対してアピールできるので良いのではないかと。

また他支部での好事例を参考に取組んでみてはどうか。

【事務局】 健康経営宣言事業所の獲得に向け、メリットを全面に出してアピールしていきたい。経営されている方の意見を伺いたいが、「何か特別な取り組みをしないと健康経営宣言できない」といった認識はあるのか。他支部の状況については、ヒアリングしていきたい。

【被保険者代表】 健康経営宣言するからには、事業所でも取り組みが必要であると考えられることは当たり前のように思う。事業所からすると、事務的な作業量等の手間が発生することも、エントリーに躊躇してしまう理由と考える。

【事業主代表】 事業主としては、エントリーしたいが、担当者の事務的負担を考えると勧めにくい。

【被保険者代表】 多くの事業所が会社の従業員定着率には敏感になっているため、その点について健康経営宣言するメリットと関連させて広報すると良いのではないかと。

【被保険者代表】 健康経営宣言事業で、健康経営の取り組みや、健康経営優良法人認定について約 10 分の YouTube 動画を作成するとある。しかし、事業所がそこに至るまでのルートについて案内するような周知方法はあるのか。また、健康経営宣言した 400 事業所について、宣言した経緯などは把握しているのか。

【事務局】 健康経営宣言についての YouTube は、これから健康経営宣言を始めようとする事業所向け動画から既実践している事業所、優良法人認定を目指している事業所など、そのノウハウ、手続き、手順等をパターン化して作成する予定である。また、宣言した 400 事業所の宣言の経緯の分析はできていない。

【被保険者代表】 健康経営宣言の周知・広報に協力できることがあれば引き続きサポートさせてほしい。

（報告事項） 重点広報事業について

【事務局】 重点広報事業について説明する。

【評議員の皆様】 意見なし。

全体を通しての質疑

【被保険者代表】 報道されていたジェネリック医薬品の睡眠薬が混入した事件について、新潟県内で影響はあったか。

【事務局】 協会としても、ジェネリック医薬品の使用促進を積極的に推進してきた立場であり、この件に関する安全性への信用失墜による影響を大変懸念している。

なお、当該医薬品使用によって新潟支部加入者へ健康被害があったとは承知していない。

【学識経験者】 今回の件により、ジェネリック医薬品全体の信用を損ねてしまった。関係機関は、このような事件を起こした製薬会社に対して徹底的に指導すべきである。

特記事項

- ・支部会議室にてオンライン開催。高橋評議員以外オンラインでの参加。
- ・佐藤評議員、宮本評議員は所用のため欠席。
- ・次回評議会は、令和3年7月開催予定。